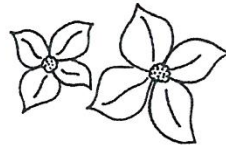




# やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定子ども園 いちじま子ども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(☎) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

<http://www.ichijima-kodomoen.com>

子どもHP



< 教育・保育理念 >

受容・信頼・貢献感

いきよう

ちからいっぱい

まぶらしく

まっすぐに



▲『おいしい』のサインを手でしています。



▲抱きしめてもらって安心♡



▲友だちと意思を伝えあひながら遊んでいます。



▲石を触って「つめたい」「ここはツルツルや」「こっちはちよっとザラザラ」と感じた事を伝え合っています。



▲自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたりしています。

## 思った事、感じた事を表現する力

言葉での表現は1歳をすぎるところから始まるのが一般的とされています。それまでは、泣いたり笑ったり怒ったりしながら精一杯に子ども達は思いを表現してくれまます。言葉がはじめてでも、すべての思いが言葉で表現できるわけではありません。子ども達が適切に言葉の獲得ができるように、また嬉しい時は嬉しい、悲しい時は悲しいと、素直な表現ができる子になるように、日々保育者の言葉や態度にも気をつけています。また、日頃の子どものありのままの表現を十分に受け止める事で子ども達が安心して自分を表現していけるようにしています。

## 倉橋惣三の言葉

この目よ、

いつまでも惑い濁らずにい、

この唇よ、

いつまでも偽りに歪まずに

いってくれ。

この頬よ、

いつまでも明朗の輝きを

褪せさせずに、

この額よ、

いつまでも闊達の伸びやかさを

失わずにいってくれ。

「育ての心」より



倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

